



リサイクル活動からはじめる効率化、合理化のシステムづくり

環境への取り組み

日頃から積極的にリサイクル活動を行なっています。
丸好工業で日常、行なわれているリサイクル・リユース活動を紹介しま



丸好工業の具体的な取り組み

廃棄物削減

廃棄物を分別しリサイクル・リユースする
リサイクル・リユース対象（それぞれの分別ゴミ箱に入れる）

- ・事務専用紙
- ・ダンボール
- ・缶・ペットボトル（フタ）

事務用紙のリサイクル・リユース

- ・片面未使用の事務用紙はコピー用紙、メモ用紙として再利用
- ・両面使用済の事務用紙

省資源

コピー用紙削減

- ・両面コピー（社内資料は両面コピーとする）
- ・裏紙コピー（裏の未使用事務用紙を回収しコピー用紙として再利用する）

ダンボールのリサイクル・リユース

- ・業者に定期的に取り壊しとして引き取ってもらっている。
- ・品物を運ぶ際に通い箱としてリユースしている。

缶・ペットボトル（フタ）のリサイクル

- ・飲料等の廃棄時に分別し、リサイクルに出している。



環境にはやさしいが経営は厳しい、という組織にならないために

環境活動を行なうと、廃棄物処理や、過度の省エネ活動で、企業の経営に悪影響を与えることになる・
という状況に陥ることもあります。

これでは、環境にやさしい企業になったとしても、経営的に大変です。

しかし、省資源で「コピー用紙の使用を少なくするシステム」をつくり出せば、用紙の購入費用が削減され、
経営的なメリットが生まれます。

さらに、組織内の「ムダ」にも注目し、業務の効率化、合理化を図るところまで視野にいれたシステムづくり
に発展させることができます。

「ゴミの削減＝支出削減」